

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和元年度第1回岩倉市子ども・子育て会議
開催日時	令和元年5月20日（月）午後1時15分から午後2時55分まで
開催場所	岩倉市役所 7階 第1委員会室
出席者 (欠席委員・事務局)	出席者：渡邊眞依子会長、宮川美樹会長職務代理、高木辰也委員、 町田竜介委員、中島正資委員、廣中大雄委員、池田哲也委員、 安長美季恵委員、野瀬さやか委員、栗林優子委員、西出香奈委員 欠席者：小林麻衣委員 事務局：教育こども未来部長、子育て支援課長、指導保育士、児童館長、 保育グループ長、児童グループ長及び担当 コンサルタント：地域問題研究所
会議の議題	1 子ども・子育て支援に関する調査結果の報告について 2 子ども・子育て支援事業計画策定にかかる推計について (年齢別人口、教育・保育・放課後児童健全育成事業のニーズ量) 3 その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された 資料の名称	資料1 岩倉市子ども・子育て会議委員名簿 資料2 子ども・子育て支援に関する調査結果報告書 資料3 子ども・子育て支援事業計画策定にかかる推計 資料4 第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュー ール 平成30年度第3回岩倉市子ども・子育て会議議事録
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
1. 開会	
事務局	・令和元年度第1回岩倉市子ども・子育て会議を開催させていただきます。
教育こども 未来部長	・お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。ほとんどの方は2 年目となりますが、今年度に代わられた3名の方を含め、本年度も1年、よろ しくお願いいたします。 ・昨日、団体の総会に出ましたが、そこで会長さんが今回の改元は、陛下の生前 の改元となったことから、おめでたい改元になったとおっしゃっていました。 私も心が改まった感じがします。 ・子ども・子育てについても無償化が可決されました。いよいよ、10月に向け、

	<p>実務のほうも急いで進めなくてははいけません。今年度は子ども子育ての支援事業計画をまとめていくという年度になりました。委員の皆様には、ご苦勞をお掛けしますが、岩倉市の子どもたちのために委員の皆様のご意見をいただき、より良い計画ができてまいりますよう、また、その計画に基づいた岩倉市の支援施策が実行できるように努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も引き続き会長職をさせていただきます。 ・無償化のほうも無事可決しまして、事務のほうはこれから忙しくなると思いますが、無償化は良い面と問題点もあります。全国的には待機児童の問題、保育の質の問題などがあり、これらはまだ、十分、改善が見込まれていない中での無償化ということになっています。保育の質は、上げていかなければいけないと思います。まずは、岩倉についてより良い子育て環境となりますよう、この会議の中で皆様と一緒に考えていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。 ・本日は、昨年実施した調査の結果、それを受けての計画策定にかかる推計のお話がありますので、忌憚のないご意見をお願ひいたします。
<p>2. 議題</p> <p>(1) 子ども・子育て支援に関する調査結果の報告について</p> <p>事務局より、資料2「子ども・子育て支援に関する調査結果報告書」に基づき、子ども・子育て支援に関する調査結果の報告について説明</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の子どもが幼児クラブでお世話になりました。私の場合は、広報を見て幼児クラブに申し込みましたが、かなりの方が幼児クラブをご存じないと思ひます。幼稚園では、至れり尽くせりで、本当にお世話になっていますが、ホームページなどが無いので、情報が入ってきませんので、就園前の子どもさんがいる方たちに、もっと情報を流していただきたいと思ひます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児クラブが始まって30数年経ちますが、当初は、幼稚園、保育園に入所する前の集団保育の練習といった形でやってまいりましたが、未就学児への支援が増えてきたと認識しています。周知不足に感じられる点については、他の団体を見習ってやっていきたいと思ひます。 ・幼児クラブもホームページでご案内をしておりますが、タイミングも必要かと思ひますので、ご意見を参考にさせていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実感として、ホームページよりも口コミで集まっていると思ひますので、その口コミさえももらえない方たちに、どのように周知するかだと思ひます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さん同士の友だちをつくることは、大事だと思ひています。幼児クラブは、そういったことができる場所だったと思ひます。時代の流れで、早く働きたいと思うお母さん方が多くみえます。就園前にお母さん同士でお友だちになりましょうといったことを求めている方々は、減ってきているのではないかと感じています。また、利用する場所も増えてきていることから、皆さんバラバラに行かれるということもあると思ひます。今までとは、違った仕掛けを必要とする時期に来ているのではないかと思ひます。孤立したお母さん方にどのような支援が有効なのか、新しい課題だと思ひます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・場所が増えるとそれぞれがバラバラになるというジレンマになってしまいます。新しい仕掛けということでは、まだ、思案の段階ですが、イベントなどを

	<p>催しながら、そのタイミングでいろいろな相談ができればよいと考えています。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日、小学校の保護者のお母さん方とお話をする機会がありました。その中で、小学校に上がるとPTAなどに参加しない限り、お母さん同士で関係をつくるのが難しいという声がありました。ということであれば、小学校前に関係をつくることは、大事なことだと感じました。私のところでは、生協の2階で食事をしながら交流するようなことを行っています。お母さん方の中には、民間の子育てのお母さんを対象にした集まりを利用している方もいると思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市のほうでもいろいろな試みを考えられているようですが、引き続きニーズを把握して新しい方策を考えていただければと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、既存の充実した部分をしっかりと周知した上で新しいものも進めていきたいと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料2:47、81ページ)日本人と外国人の比較で日本人は認定こども園のニーズがあるのに対し、外国人の保育部は利用状況がゼロとなっており、今後の利用意向もゼロとなっていますが、なぜなのでしょう。こういった受け皿があることを知らないのでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの保育園には、それほど外国人の方はいませんが、アンケートに回答した方にうちの保護者は、含まれずということです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の利用については、市で申し込みを受けますが、希望と受け入れ枠の状況を勘案し、あくまでご本人の希望でやっておりますので、外国人の方は公立でということではありません。 ・アンケート結果は、たまたま、私立のほうに回答された方がいなかったということだと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の子ども・子育て支援に関する調査結果の報告について、事務局の報告を了承するということよろしいでしょうか。(異議等なし) ・ご了承いただきました。
<p>議題(2) 子ども・子育て支援事業計画策定にかかる推計について (年齢別人口、教育・保育・放課後児童健全育成事業のニーズ量) 事務局より、資料3「子ども・子育て支援事業計画策定にかかる推計」に基づき、子ども・子育て支援事業計画策定にかかる推計について説明</p>	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの実態について、1年生の保護者の方に放課後児童クラブを6年生になっても使いたいですかと伺うと、使いたいと答えられますが、実際、4年生くらいになるとしっかりしてくるし、5年、6年生になると塾に行かせたり、お子さん自体も友だちと遊んだり、放課後児童クラブには、行かなくなる子が出てくるので、実態を見てニーズ量を考える必要があると思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料3:9ページ)補足として、放課後児童クラブについて言えば、グラフの実際に利用した1年生は2018年に大きく増え、翌年、大きく減っていますが、これは、市の施策で、たくさんの方が建ったことも影響しているのではないかと考えられます。子どもの数を学年別に見てみると凸凹していますが、そういった要素が働いています。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題の子ども・子育て支援事業計画策定にかかる推計についての報告を了承し、ニーズ量の設定を進めるということよろしいでしょうか。(異議等なし)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご了承いただいたことについて、確認を取らせていただきます。ただ今、説明

	<p>させていただきましたグラフの3本の線の中で、青の線がよいということであり、ご提案させていただいております線で説明をさせていただこうと思いません。</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご提案の数値を基に次回以降の資料作成を進めていってくださるようお願いいたします。
<p>議題（3）その他 事務局より、資料4「第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュール」に基づき、今後の計画策定のスケジュールについて説明</p>	
<p>3. その他 事務局より次回の開催日について日程調整</p>	
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第1回岩倉市子ども子育て会議を閉会させていただきます。

以上